

【豊郷町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

豊郷町教育大綱の中で、施策の基本方針として「知・徳・体調和の取れた人格の形成を目指すとともに、個性を尊重しつつ個人の能力を伸長し、自立した人間を育て、国家や社会の形成者である住民の育成を目指します」と掲げており、1人1台端末を通して個別最適な学びと、協働的な学びの実現を実行し、児童生徒の成長の最大化を図る。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度に1人1台タブレット端末の整備と、校内の無線環境設備の整備を行った。また、臨時休校・学級閉鎖時の学習保障が可能となり、学習支援ソフトやAIドリルの導入で学習の個別化に活用できた。

一方で、端末の一斉利用による通信速度の不安定・不具合や、端末故障時の貸出予備機が少ないことも課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

・1人1台端末の積極的活用

ドリル教材やデジタル教科書等を用いて、1人1台端末の積極的な利活用を推進する。

教職員では端末の操作方法等習熟度に個人差があり、授業等に有効活用できないといった場面も見られる。情報教育支援員が各校を巡回し、活用に苦戦する教師の支援体制を構築するなどして、意識と技術の向上を図っていく。

・個別最適・協働的な学びの充実

学習支援ソフト等により、児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、積極的に1人1台端末を活用できるような環境づくりを行う。

・学びの保障

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対し、実態に応じて端末を活用した支援を検討する。

以上の個別最適な学びを行うにあたり、1人1台端末が必要不可欠であり、端末の整備・更新により、1人1台端末環境を引き続き維持していく。